

令和元年度

第9回市政モニターアンケート

暴力追放運動について

北九州市広報室広聴課

目 次

I 調査の概要	1
II 市政モニターの構成	1
III 調査結果	2
(1) 市の相談窓口の認知度	2
(2) 市の暴力追放に向けた取組の認知度	3
(3) 活動内容の認知度	4
(4) 暴力団等から不当な要求を受けた経験の有無	5
(5) 不当な要求を受けた場合の対応	6
(6) 不当な要求に応じる理由	7
(6) 不当な要求を受けた場合誰（どこ）に相談するか	8
(7) 暴力追放の住民運動への協力意向	9
(8) 暴力追放の住民運動に協力したくない理由	10
(9) 暴力団を利用してのもめごと処理についての考え	11
(10) 暴力団の利用を「やむを得ない」「悪くはない」と思う理由	12
(11) 暴力団はどのようにして存在すると思うか	13
(12) 北九州のイメージについて	14
(13) 北九州市の暴力追放運動の取組について	15
(14) 暴力追放についての意見	16
IV 全体考察	17

I 調査の概要

調査対象者	市政モニター	150人
回答者数	133人	(回収率88.7%)
調査実施日	令和元年10月7日～令和元年10月22日	
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査	
調査実施課	広報室広聴課	TEL 582-2527
調査依頼課	市民文化スポーツ局 安全・安心相談センター	TEL 582-2427

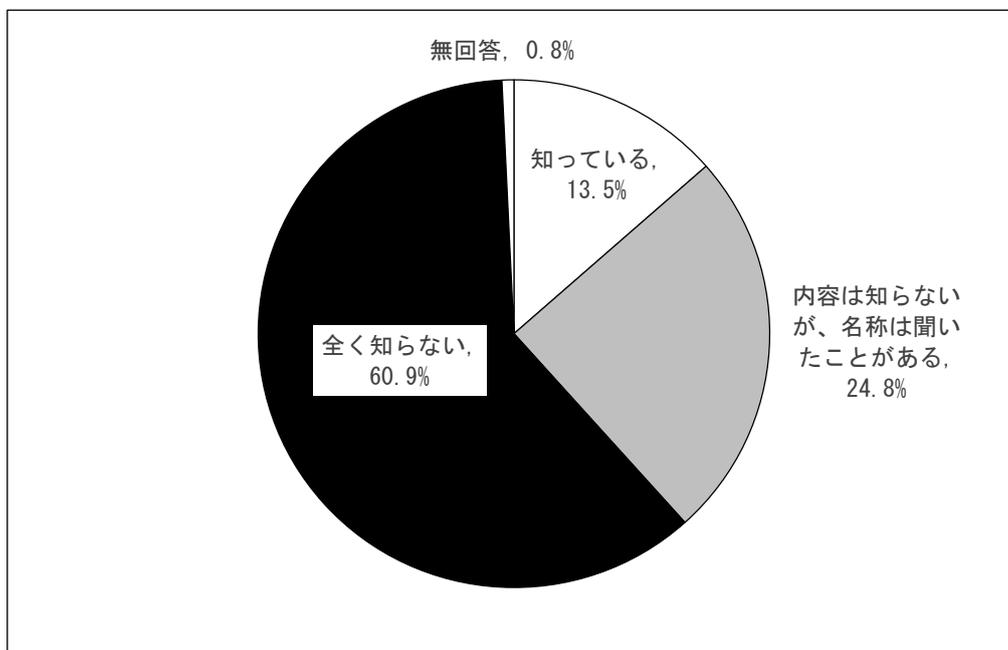
II 市政モニターの構成

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150 (100.0%)	68 (45.3%)	82 (54.7%)	区 別			
10歳代	3 (2.0%)	0 (0.0%)	3 (2.0%)	門司区	15 (10.0%)	5 (3.3%)	10 (6.7%)
20歳代	18 (12.0%)	9 (6.0%)	9 (6.0%)	小倉北区	28 (18.7%)	16 (10.7%)	12 (8.0%)
30歳代	18 (12.0%)	8 (5.3%)	10 (6.7%)	小倉南区	33 (22.0%)	17 (11.3%)	16 (10.7%)
40歳代	28 (18.7%)	12 (8.0%)	16 (10.7%)	若松区	12 (8.0%)	7 (4.7%)	5 (3.3%)
50歳代	23 (15.3%)	11 (7.3%)	12 (8.0%)	八幡東区	11 (7.3%)	5 (3.3%)	6 (4.0%)
60歳代	33 (22.0%)	15 (10.0%)	18 (12.0%)	八幡西区	40 (26.7%)	23 (15.3%)	17 (11.3%)
70歳以上	27 (18.0%)	13 (8.7%)	14 (9.3%)	戸畑区	11 (7.3%)	4 (2.7%)	7 (4.7%)

※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

III 調査結果

問1 市役所内に民事介入暴力の被害相談窓口が設置されていることを知っていますか。

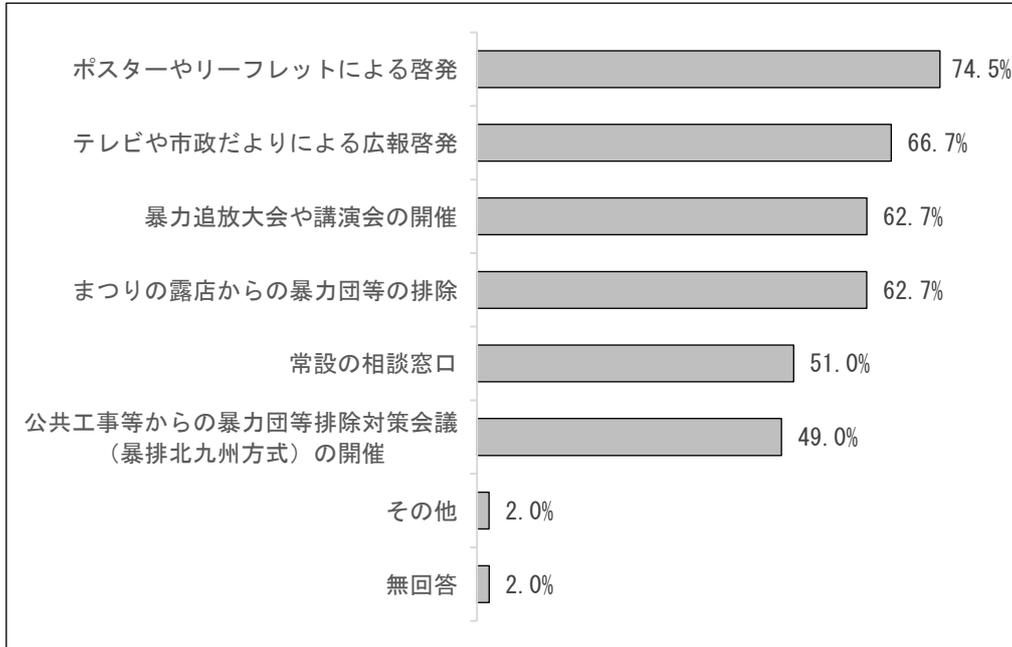


		回答者数	知っている	内容は知らないが、名称は聞いたことがある	全く知らない	無回答
全体		133	13.5%	24.8%	60.9%	0.8%
性別	男性	58	13.8%	29.3%	56.9%	-
	女性	75	13.3%	21.3%	64.0%	1.3%
年齢別	10歳代	2	-	-	100.0%	-
	20歳代	14	14.3%	-	85.7%	-
	30歳代	16	6.3%	-	87.5%	6.3%
	40歳代	25	12.0%	24.0%	64.0%	-
	50歳代	17	-	29.4%	70.6%	-
	60歳代	33	18.2%	36.4%	45.5%	-
	70歳以上	26	23.1%	38.5%	38.5%	-
区別	門司区	13	7.7%	23.1%	69.2%	-
	小倉北区	24	16.7%	29.2%	54.2%	-
	小倉南区	32	12.5%	31.3%	56.3%	-
	若松区	9	-	-	100.0%	-
	八幡東区	9	44.4%	11.1%	44.4%	-
	八幡西区	36	8.3%	33.3%	58.3%	-
	戸畑区	10	20.0%	-	70.0%	10.0%

「知っている」「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」の合計は38.3%だった。「全く知らない」が60.9%で、年代別では10歳代から50歳代が60%以上と認知度が低かった。

問2 <問1で「1」、「2」いずれかを答えた方におたずねします。>

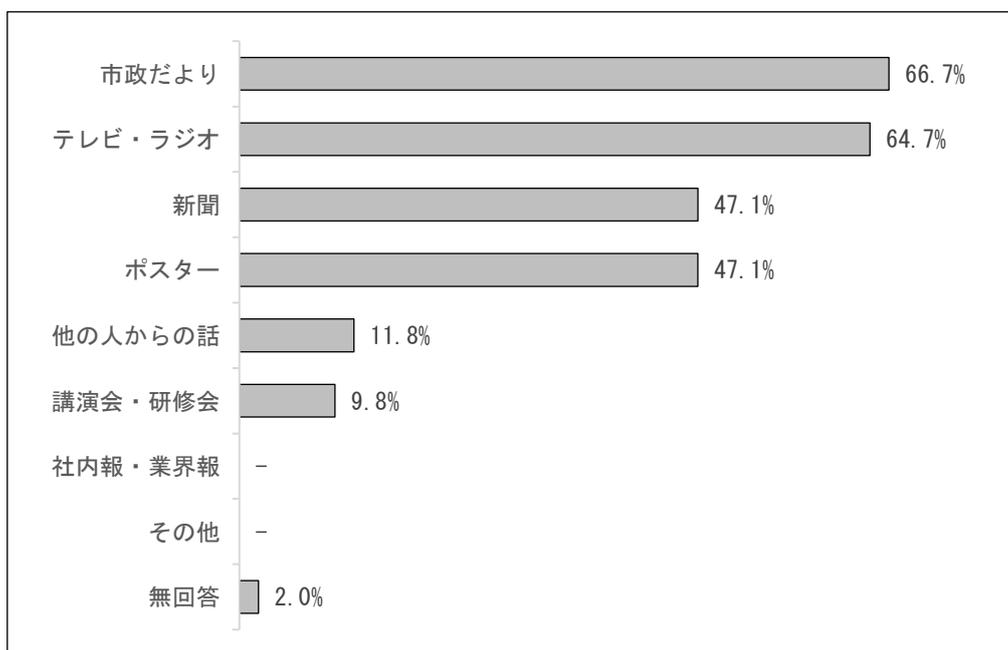
2-1 市の暴力追放に向けた取り組みの中で、知っているものをいくつでも選んでください。



		回答者数	ポスターやリーフレットによる啓発	テレビや市政だよりによる広報啓発	暴力追放大会や講演会の開催	まつりの露店からの暴力団等の排除	常設の相談窓口	公共工事等からの暴力団等排除対策会議(暴排北九州方式)の開催	その他	無回答
全体		51人	74.5%	66.7%	62.7%	62.7%	51.0%	49.0%	2.0%	2.0%
性別	男性	25人	80.0%	72.0%	76.0%	68.0%	52.0%	60.0%	4.0%	-
	女性	26人	69.2%	61.5%	50.0%	57.7%	50.0%	38.5%	-	3.8%
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	2人	100.0%	50.0%	-	100.0%	50.0%	50.0%	-	-
	30歳代	1人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-
	40歳代	9人	77.8%	55.6%	44.4%	55.6%	33.3%	55.6%	-	11.1%
	50歳代	5人	80.0%	40.0%	20.0%	60.0%	20.0%	-	-	-
	60歳代	18人	72.2%	77.8%	83.3%	66.7%	50.0%	50.0%	-	-
	70歳以上	16人	68.8%	68.8%	68.8%	56.3%	68.8%	56.3%	6.3%	-
区別	門司区	4人	75.0%	75.0%	50.0%	75.0%	75.0%	25.0%	-	-
	小倉北区	11人	81.8%	54.5%	63.6%	36.4%	36.4%	36.4%	-	-
	小倉南区	14人	57.1%	78.6%	78.6%	85.7%	35.7%	57.1%	-	-
	若松区	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	八幡東区	5人	100.0%	80.0%	60.0%	100.0%	60.0%	60.0%	-	-
	八幡西区	15人	73.3%	60.0%	53.3%	46.7%	60.0%	53.3%	6.7%	6.7%
	戸畑区	2人	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	-	-

1位の「ポスターやリーフレットによる啓発」と3位の「暴力追放大会や講演会の開催」が、前回調査と比較して減少する一方で、4位の「まつりの露店からの暴力団等の排除」が前回調査から増加した。

2-2 あなたは、その活動を何によって知りましたか。次の中からいくつでも選んでください。

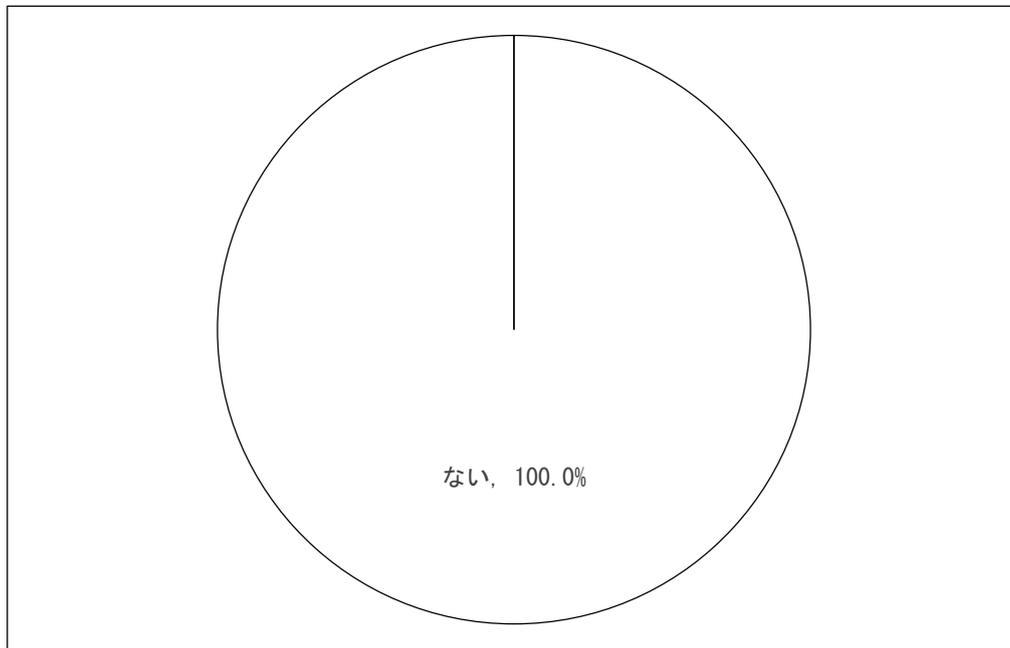


	回答者数	市政だより	テレビ・ラジオ	新聞	ポスター	他の人からの話	講演会・研修会	社内報・業界報	その他	無回答
全体	51人	66.7%	64.7%	47.1%	47.1%	11.8%	9.8%	-	-	2.0%
性別	男性	25人	76.0%	72.0%	60.0%	56.0%	12.0%	8.0%	-	-
	女性	26人	57.7%	57.7%	34.6%	38.5%	11.5%	11.5%	-	3.8%
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	2人	50.0%	100.0%	100.0%	50.0%	-	-	-	-
	30歳代	1人	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	-	-	-
	40歳代	9人	44.4%	44.4%	33.3%	44.4%	-	11.1%	-	11.1%
	50歳代	5人	60.0%	60.0%	20.0%	20.0%	20.0%	-	-	-
	60歳代	18人	72.2%	72.2%	66.7%	55.6%	5.6%	11.1%	-	-
70歳以上	16人	75.0%	68.8%	31.3%	43.8%	25.0%	12.5%	-	-	
区別	門司区	4人	75.0%	75.0%	75.0%	50.0%	25.0%	25.0%	-	-
	小倉北区	11人	81.8%	27.3%	45.5%	36.4%	-	18.2%	-	-
	小倉南区	14人	35.7%	85.7%	50.0%	57.1%	7.1%	14.3%	-	-
	若松区	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	八幡東区	5人	100.0%	60.0%	40.0%	20.0%	-	-	-	-
	八幡西区	15人	66.7%	66.7%	46.7%	46.7%	26.7%	-	-	6.7%
	戸畑区	2人	100.0%	100.0%	-	100.0%	-	-	-	-

「市政だより」と回答した人が1位で66.7%、続いて2位が「テレビ・ラジオ」の64.7%、「新聞」が3位で47.1%と前回調査と同じ順位だった。

また、「ポスター」と回答した人は、前回4位から今回同率3位に上昇した。

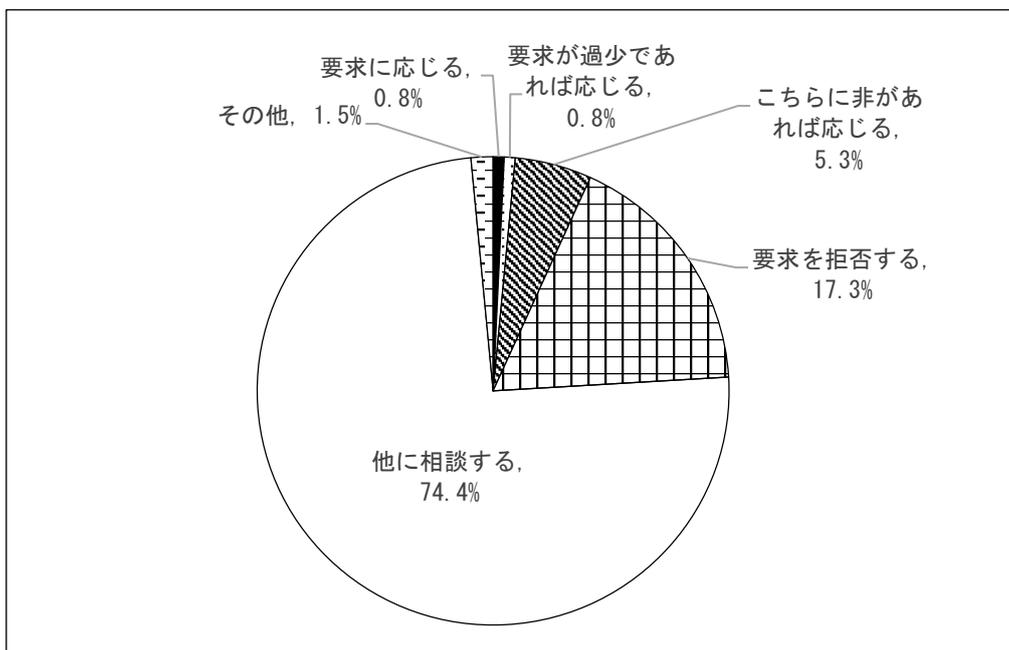
問3 あなた自身やあなたの家族・会社が、過去2年間に北九州市内において暴力団から「ゆすり」「たかり」など、不当な要求を受けたことがありますか。また、受けたことがある方は、いつ頃ですか。



	回答者数	ある	ない	無回答
全体	133人	-	100.0%	-
性別	男性	-	100.0%	-
	女性	-	100.0%	-
年齢別	10歳代	-	100.0%	-
	20歳代	-	100.0%	-
	30歳代	-	100.0%	-
	40歳代	-	100.0%	-
	50歳代	-	100.0%	-
	60歳代	-	100.0%	-
	70歳以上	-	100.0%	-
区別	門司区	-	100.0%	-
	小倉北区	-	100.0%	-
	小倉南区	-	100.0%	-
	若松区	-	100.0%	-
	八幡東区	-	100.0%	-
	八幡西区	-	100.0%	-
	戸畑区	-	100.0%	-

「ある」と回答した者は1人もいなかった

問4 あなたは暴力団などから不当な要求があった場合、どのように対応しますか。
1つだけ選んでください。

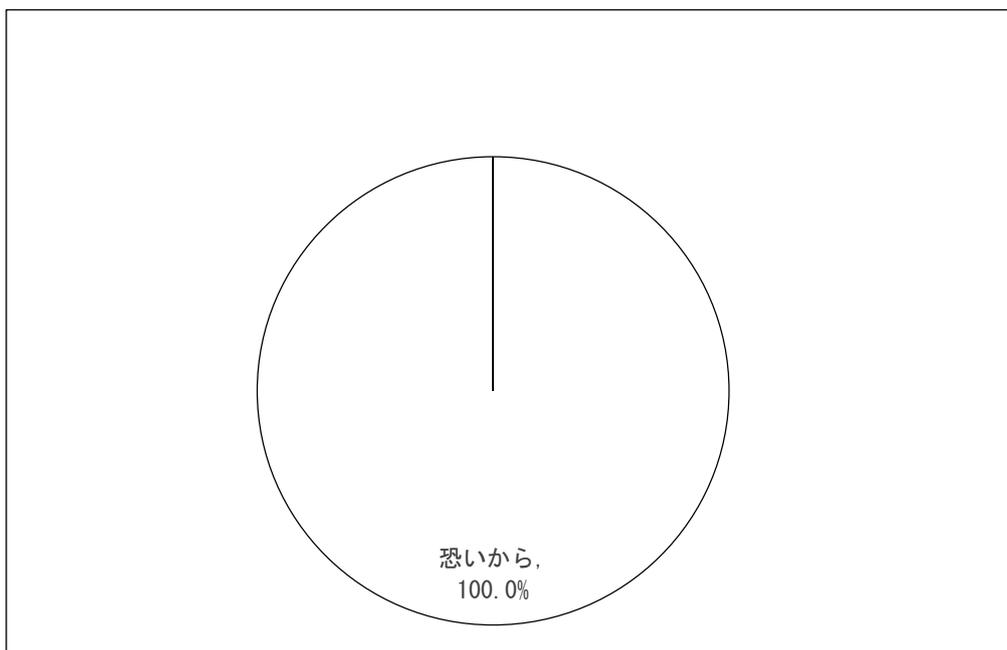


	回答者数	要求に応じる	要求が過少であれば応じる	こちらに非があれば応じる	要求を拒否する	他に相談する	その他	無回答	
全体	133人	0.8%	0.8%	5.3%	17.3%	74.4%	1.5%	-	
性別	男性	58人	1.7%	1.7%	5.2%	15.5%	74.1%	1.7%	-
	女性	75人	-	-	5.3%	18.7%	74.7%	1.3%	-
年齢別	10歳代	2人	-	-	-	-	100.0%	-	-
	20歳代	14人	-	-	-	28.6%	71.4%	-	-
	30歳代	16人	-	-	12.5%	12.5%	75.0%	-	-
	40歳代	25人	-	-	-	12.0%	88.0%	-	-
	50歳代	17人	-	-	5.9%	5.9%	82.4%	5.9%	-
	60歳代	33人	-	3.0%	-	18.2%	78.8%	-	-
	70歳以上	26人	3.8%	-	15.4%	26.9%	50.0%	3.8%	-
区別	門司区	13人	-	-	7.7%	23.1%	69.2%	-	-
	小倉北区	24人	-	-	8.3%	8.3%	79.2%	4.2%	-
	小倉南区	32人	-	3.1%	6.3%	21.9%	65.6%	3.1%	-
	若松区	9人	-	-	-	33.3%	66.7%	-	-
	八幡東区	9人	-	-	-	11.1%	88.9%	-	-
	八幡西区	36人	2.8%	-	2.8%	19.4%	75.0%	-	-
	戸畑区	10人	-	-	10.0%	-	90.0%	-	-

1位の「他に相談する」が74.4%で、2位の「要求を拒否する」が0.8%だった。
「こちらに非があれば応じる」が5.3%、「要求に応じる」が0.8%だった。

〈問5は、問4で「1 要求に応じる」と答えた方におたずねします〉

問5 要求に応じるのは何故ですか。1つだけ選んでください。

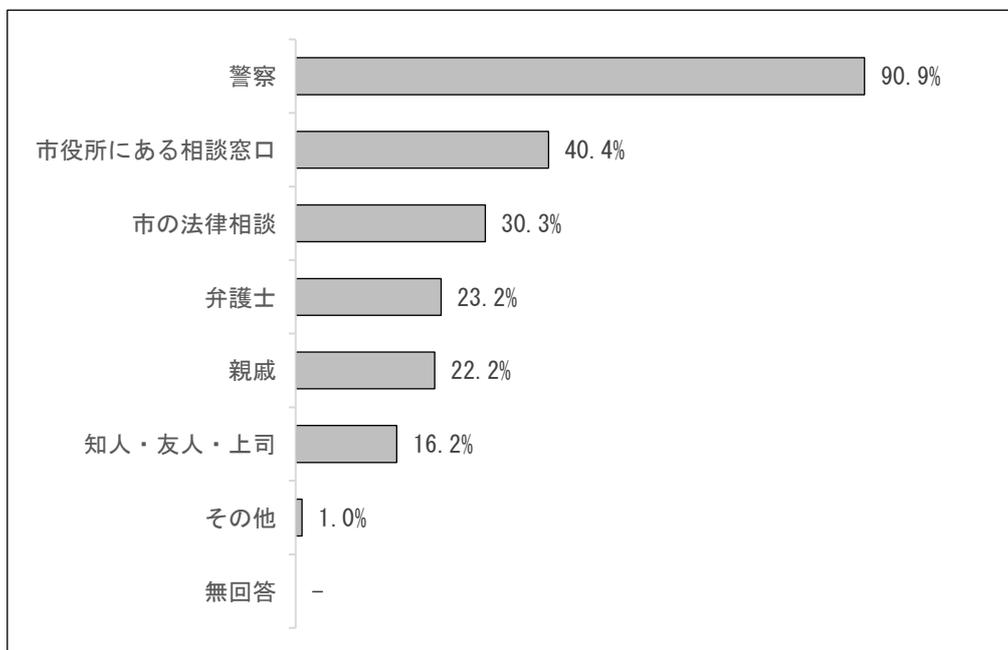


	回答者数	恐いから	関わりをもつのが面倒だから	相談するところがないから	前にも応じて、断るのが困難	対応に不慣れだから	その他
全体	1人	100.0%	-	-	-	-	-
性別	男性	1人	100.0%	-	-	-	-
	女性	-	-	-	-	-	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-
	20歳代	-	-	-	-	-	-
	30歳代	-	-	-	-	-	-
	40歳代	-	-	-	-	-	-
	50歳代	-	-	-	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-
	70歳以上	1人	100.0%	-	-	-	-
区別	門司区	-	-	-	-	-	-
	小倉北区	-	-	-	-	-	-
	小倉南区	-	-	-	-	-	-
	若松区	-	-	-	-	-	-
	八幡東区	-	-	-	-	-	-
	八幡西区	1人	100.0%	-	-	-	-
	戸畑区	-	-	-	-	-	-

「要求に応じる」と回答した理由は、「恐いから」だった。

〈問6は、問4で「5他に相談する」と答えた方におたずねします〉

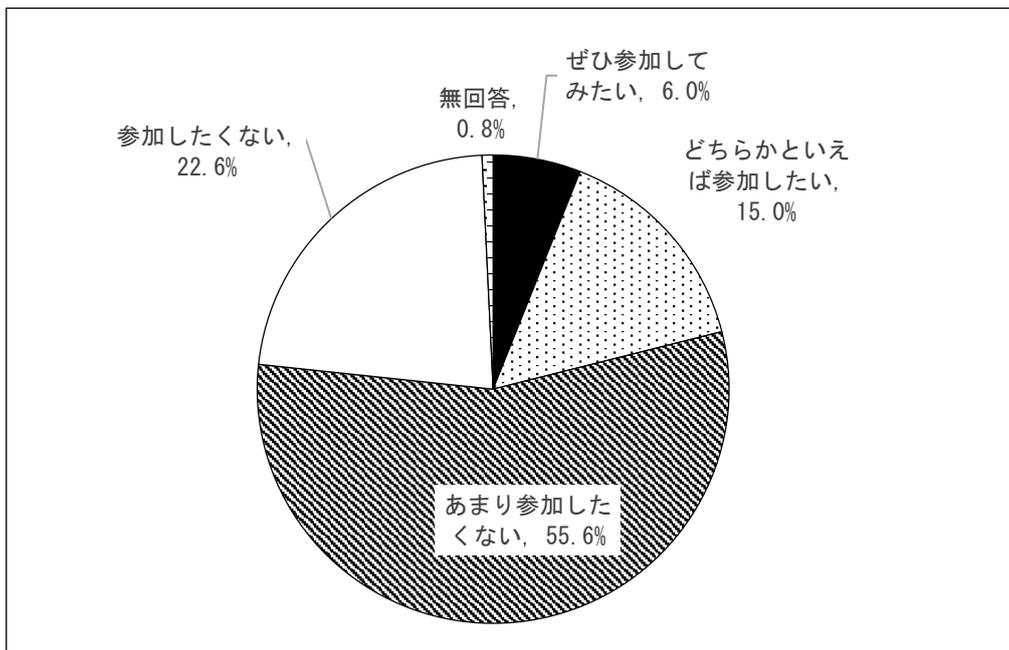
問6 そのことを誰（どこ）に相談しますか。次の中からいくつでも選んでください。



	回答者数	警察	市役所にある相談窓口	市の法律相談	弁護士	親戚	知人・友人・上司	その他	無回答	
全体	99人	90.9%	40.4%	30.3%	23.2%	22.2%	16.2%	1.0%	-	
性別	男性	43人	93.0%	41.9%	34.9%	16.3%	11.6%	14.0%	-	-
	女性	56人	89.3%	39.3%	26.8%	28.6%	30.4%	17.9%	1.8%	-
年齢別	10歳代	2人	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	-	-	-
	20歳代	10人	80.0%	30.0%	10.0%	10.0%	30.0%	20.0%	-	-
	30歳代	12人	91.7%	16.7%	41.7%	16.7%	33.3%	16.7%	-	-
	40歳代	22人	100.0%	27.3%	18.2%	27.3%	22.7%	22.7%	-	-
	50歳代	14人	85.7%	35.7%	14.3%	7.1%	21.4%	21.4%	-	-
	60歳代	26人	88.5%	53.8%	34.6%	34.6%	15.4%	7.7%	3.8%	-
区別	70歳以上	13人	92.3%	61.5%	61.5%	23.1%	7.7%	15.4%	-	-
	門司区	9人	88.9%	44.4%	44.4%	22.2%	33.3%	22.2%	-	-
	小倉北区	19人	94.7%	36.8%	36.8%	36.8%	5.3%	10.5%	-	-
	小倉南区	21人	95.2%	28.6%	19.0%	23.8%	14.3%	14.3%	4.8%	-
	若松区	6人	100.0%	66.7%	50.0%	16.7%	33.3%	16.7%	-	-
	八幡東区	8人	75.0%	62.5%	50.0%	-	37.5%	12.5%	-	-
	八幡西区	27人	85.2%	44.4%	22.2%	22.2%	29.6%	18.5%	-	-
戸畑区	9人	100.0%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	-	-	

「警察」と答えた人が90.9%で前回調査と同じ1位。「市役所にある相談窓口」も40.4%と前回同様の2位であった。

問7 現在、県警察や市などの主催により、市内各地で暴力追放大会や暴追パレードが開催されていますが、あなたは参加する時間があるとした場合に、このような活動に参加することについてどのようにお考えですか。



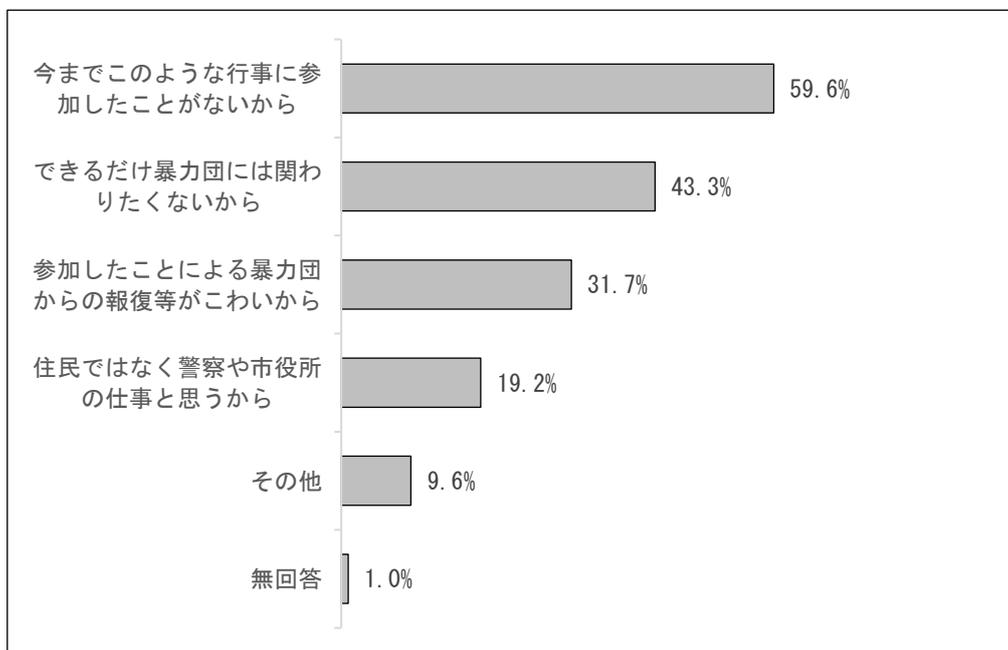
	回答者数	ぜひ参加してみたい	どちらかといえば参加したい	あまり参加したくない	参加したくない	無回答	
全体	133人	6.0%	15.0%	55.6%	22.6%	0.8%	
性別	男性	58人	10.3%	15.5%	56.9%	15.5%	1.7%
	女性	75人	2.7%	14.7%	54.7%	28.0%	-
年齢別	10歳代	2人	-	-	100.0%	-	-
	20歳代	14人	7.1%	21.4%	50.0%	21.4%	-
	30歳代	16人	6.3%	12.5%	50.0%	31.3%	-
	40歳代	25人	4.0%	4.0%	76.0%	16.0%	-
	50歳代	17人	11.8%	5.9%	58.8%	23.5%	-
	60歳代	33人	-	18.2%	57.6%	24.2%	-
	70歳以上	26人	11.5%	26.9%	34.6%	23.1%	3.8%
区別	門司区	13人	-	23.1%	53.8%	23.1%	-
	小倉北区	24人	-	8.3%	70.8%	16.7%	4.2%
	小倉南区	32人	3.1%	18.8%	46.9%	31.3%	-
	若松区	9人	11.1%	11.1%	44.4%	33.3%	-
	八幡東区	9人	11.1%	22.2%	33.3%	33.3%	-
	八幡西区	36人	13.9%	11.1%	58.3%	16.7%	-
	戸畑区	10人	-	20.0%	70.0%	10.0%	-

「ぜひ参加してみたい」「どちらかといえば参加したい」の合計が21.1%と半数以下だった。また、「あまり参加したくない」「参加したくない」の合計は78.2%だった。

※端数処理の関係で「ぜひ参加してみたい」「どちらかといえば参加したい」を併せた割合は、各値の和と一致しない。

＜問8は、問7で「3 あまり参加したくない」又は「4 参加したくない」と答えた方におたずねします＞

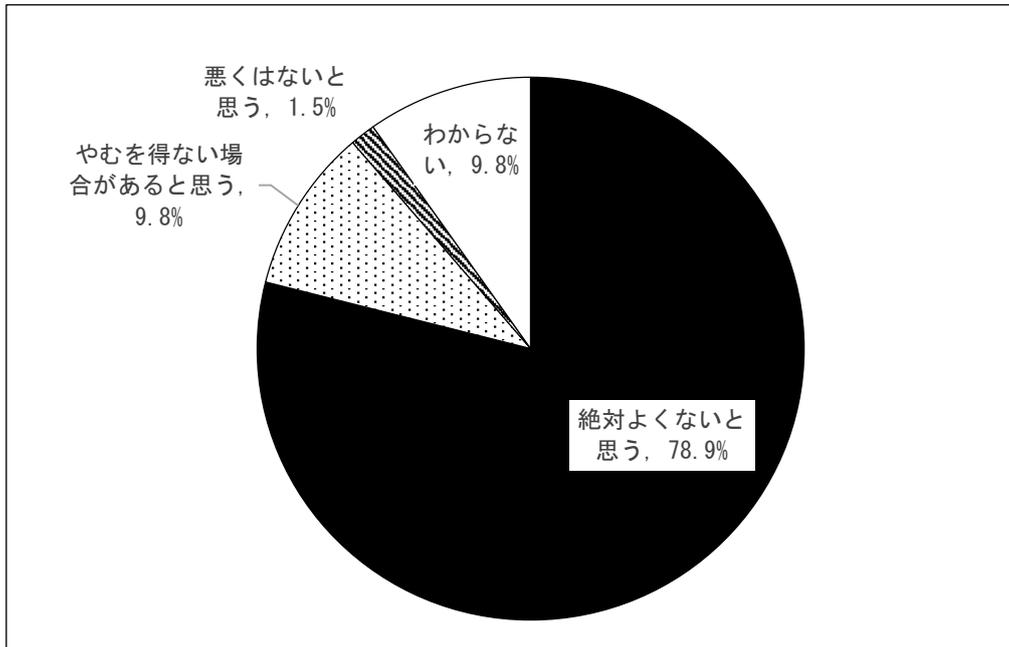
問8 その理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。



	回答者数	今までこのような行事に参加したことがないから	できるだけ暴力団には関わりたいくないから	参加したことによる暴力団からの報復等がこわいから	住民ではなく警察や市役所の仕事と思うから	その他	無回答	
全体	104人	59.6%	43.3%	31.7%	19.2%	9.6%	1.0%	
性別	男性	42人	54.8%	47.6%	23.8%	19.0%	7.1%	-
	女性	62人	62.9%	40.3%	37.1%	19.4%	11.3%	1.6%
年齢別	10歳代	2人	100.0%	-	50.0%	-	-	-
	20歳代	10人	80.0%	40.0%	20.0%	-	-	-
	30歳代	13人	38.5%	38.5%	30.8%	15.4%	7.7%	-
	40歳代	23人	65.2%	52.2%	47.8%	17.4%	4.3%	4.3%
	50歳代	14人	42.9%	42.9%	42.9%	14.3%	-	-
	60歳代	27人	63.0%	40.7%	22.2%	22.2%	18.5%	-
	70歳以上	15人	60.0%	46.7%	20.0%	40.0%	20.0%	-
区別	門司区	10人	60.0%	50.0%	40.0%	20.0%	20.0%	-
	小倉北区	21人	52.4%	47.6%	9.5%	23.8%	4.8%	4.8%
	小倉南区	25人	48.0%	40.0%	32.0%	24.0%	16.0%	-
	若松区	7人	42.9%	42.9%	28.6%	42.9%	14.3%	-
	八幡東区	6人	66.7%	50.0%	50.0%	16.7%	-	-
	八幡西区	27人	81.5%	29.6%	37.0%	11.1%	7.4%	-
戸畑区	8人	50.0%	75.0%	50.0%	-	-	-	

「今までこのような行事に参加したことがないから」が 59.6%と一番多く、次いで「できるだけ暴力団には関わりたいくないから」が 43.3%で、「参加したことによる暴力団からの報復等がこわいから」が 31.7%だった。

問9 暴力団などを利用して、もめごとの処理を行う人がいますが、あなたはこのようなことについてどう考えますか。1つだけ選んでください。

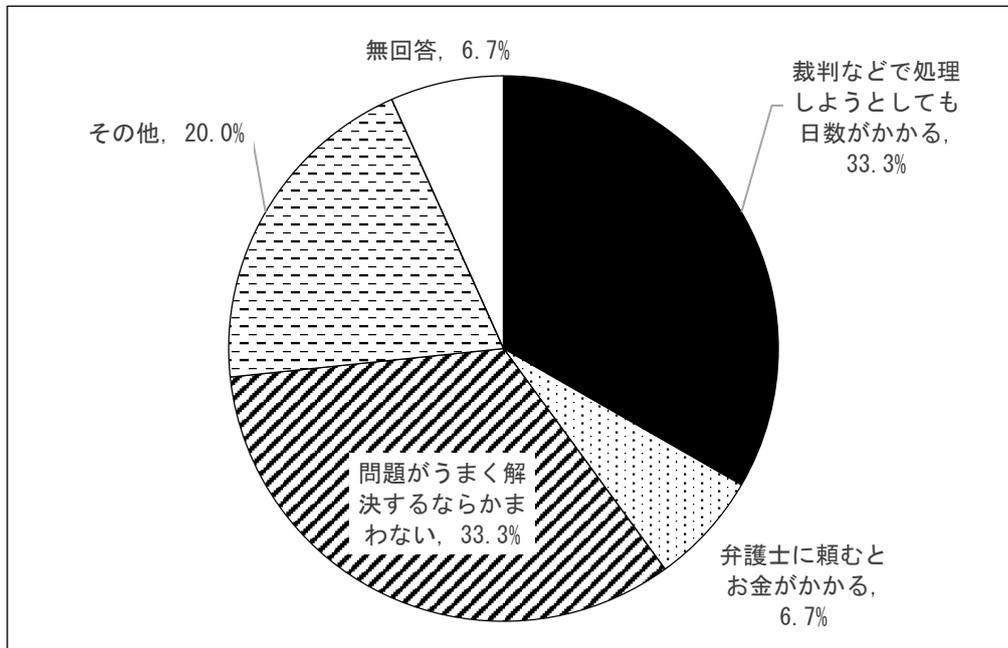


	回答者数	絶対よくないと思う	やむを得ない場合があると思う	悪くはないと思う	わからない	無回答	
全体	133人	78.9%	9.8%	1.5%	9.8%	-	
性別	男性	58人	79.3%	10.3%	3.4%	6.9%	-
	女性	75人	78.7%	9.3%	-	12.0%	-
年齢別	10歳代	2人	100.0%	-	-	-	-
	20歳代	14人	85.7%	-	-	14.3%	-
	30歳代	16人	56.3%	25.0%	-	18.8%	-
	40歳代	25人	68.0%	20.0%	-	12.0%	-
	50歳代	17人	70.6%	17.6%	5.9%	5.9%	-
	60歳代	33人	90.9%	-	3.0%	6.1%	-
	70歳以上	26人	88.5%	3.8%	-	7.7%	-
区別	門司区	13人	84.6%	15.4%	-	-	-
	小倉北区	24人	83.3%	8.3%	-	8.3%	-
	小倉南区	32人	81.3%	9.4%	3.1%	6.3%	-
	若松区	9人	77.8%	-	11.1%	11.1%	-
	八幡東区	9人	77.8%	-	-	22.2%	-
	八幡西区	36人	69.4%	13.9%	-	16.7%	-
	戸畑区	10人	90.0%	10.0%	-	-	-

「絶対よくないと思う」が78.9%と一番多く、「悪くはないと思う」は1.5%だった。

〈問10は、問9で「2 やむを得ない場合があると思う」又は「3 悪くはないと思う」と答えた方におたずねします〉

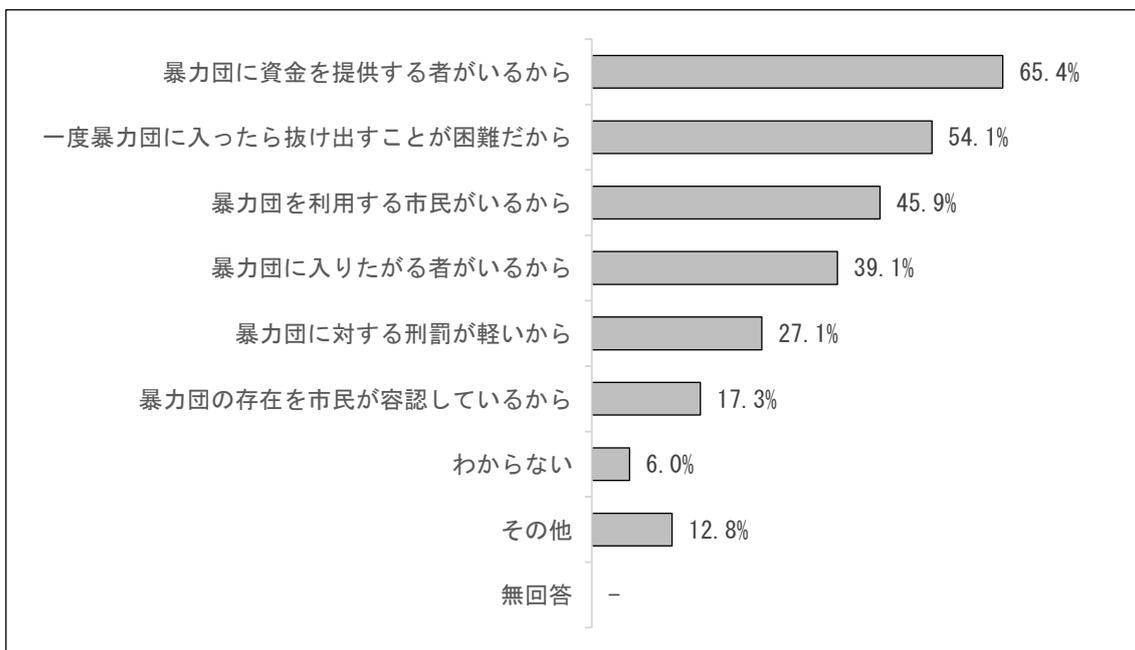
問10 そう思う理由は何ですか。1つだけ選んでください。



	回答者数	裁判などで処理しようとしても日数がかかる	弁護士に頼むとお金がかかる	特に悪いこととは思わない	問題がうまく解決するならかまわない	その他	無回答	
全体	15人	33.3%	6.7%	-	33.3%	20.0%	6.7%	
性別	男性	8人	25.0%	12.5%	-	50.0%	12.5%	-
	女性	7人	42.9%	-	-	14.3%	28.6%	14.3%
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	
	20歳代	-	-	-	-	-	-	
	30歳代	4人	-	-	-	50.0%	25.0%	25.0%
	40歳代	5人	60.0%	-	-	20.0%	20.0%	-
	50歳代	4人	25.0%	25.0%	-	25.0%	25.0%	-
	60歳代	1人	100.0%	-	-	-	-	-
	70歳以上	1人	-	-	-	100.0%	-	-
区別	門司区	2人	50.0%	-	-	50.0%	-	-
	小倉北区	2人	-	50.0%	-	-	50.0%	-
	小倉南区	4人	-	-	-	75.0%	25.0%	-
	若松区	1人	100.0%	-	-	-	-	-
	八幡東区	-	-	-	-	-	-	-
	八幡西区	5人	60.0%	-	-	20.0%	20.0%	-
	戸畑区	1人	-	-	-	-	-	100.0%

回答した15人の中で、「裁判などで処理しようとしても日数がかかる」「問題がうまく解決するならかまわない」がそれぞれ33.3%と一番多かった。

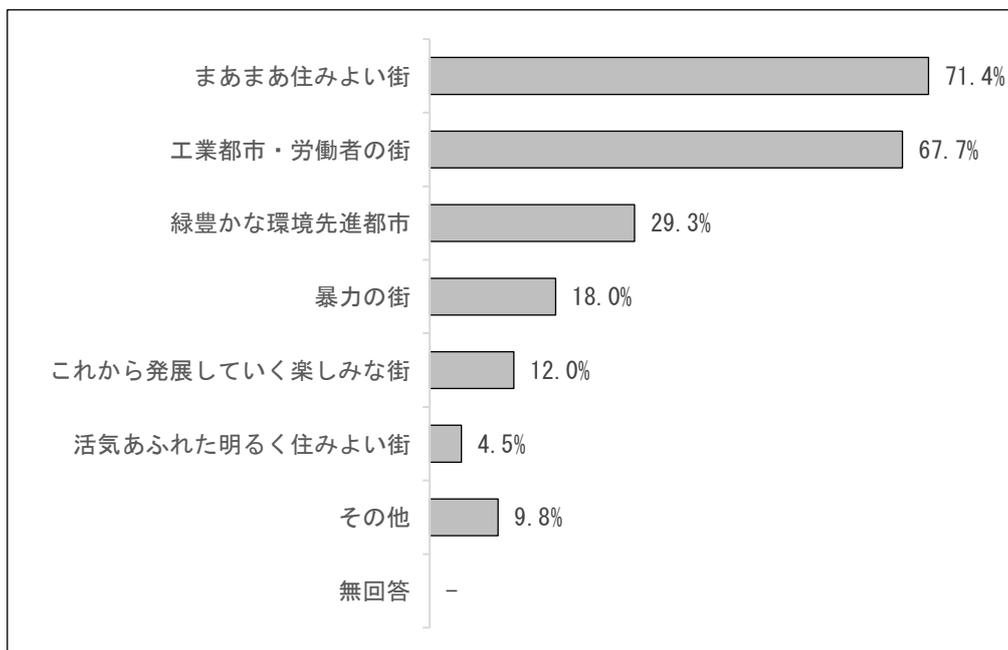
問 1 1 あなたは、暴力団はどうして存在するのだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。



	回答者数	暴力団に資金を提供する者がいるから	一度暴力団に入ったら抜け出すことが困難だから	暴力団を利用する市民がいるから	暴力団に入りたがる者がいるから	暴力団に対する刑罰が軽いから	暴力団の存在を市民が容認しているから	わからない	その他	無回答	
全体	133人	65.4%	54.1%	45.9%	39.1%	27.1%	17.3%	6.0%	12.8%	-	
性別	男性	58人	67.2%	46.6%	48.3%	39.7%	29.3%	27.6%	-	15.5%	-
	女性	75人	64.0%	60.0%	44.0%	38.7%	25.3%	9.3%	10.7%	10.7%	-
年齢別	10歳代	2人	100.0%	50.0%	50.0%	-	-	50.0%	-	-	-
	20歳代	14人	71.4%	50.0%	28.6%	35.7%	21.4%	7.1%	7.1%	-	-
	30歳代	16人	50.0%	31.3%	25.0%	43.8%	25.0%	-	-	12.5%	-
	40歳代	25人	72.0%	56.0%	48.0%	48.0%	24.0%	20.0%	8.0%	20.0%	-
	50歳代	17人	47.1%	41.2%	47.1%	29.4%	23.5%	29.4%	17.6%	11.8%	-
	60歳代	33人	78.8%	72.7%	51.5%	48.5%	30.3%	18.2%	-	12.1%	-
70歳以上	26人	57.7%	53.8%	57.7%	26.9%	34.6%	19.2%	7.7%	15.4%	-	
区別	門司区	13人	69.2%	46.2%	46.2%	61.5%	38.5%	30.8%	7.7%	7.7%	-
	小倉北区	24人	83.3%	54.2%	41.7%	33.3%	25.0%	20.8%	4.2%	8.3%	-
	小倉南区	32人	50.0%	50.0%	37.5%	46.9%	31.3%	15.6%	9.4%	21.9%	-
	若松区	9人	44.4%	55.6%	33.3%	33.3%	44.4%	-	11.1%	-	-
	八幡東区	9人	77.8%	55.6%	66.7%	-	11.1%	22.2%	-	-	-
	八幡西区	36人	69.4%	55.6%	47.2%	38.9%	22.2%	19.4%	5.6%	13.9%	-
	戸畑区	10人	60.0%	70.0%	70.0%	40.0%	20.0%	-	-	20.0%	-

「暴力団に資金を提供する者がいるから」が半数以上の 65.4%で、次いで「一度暴力団に入ったら抜け出すことが困難だから」「暴力団を利用する市民がいるから」が 40%以上と多かった。

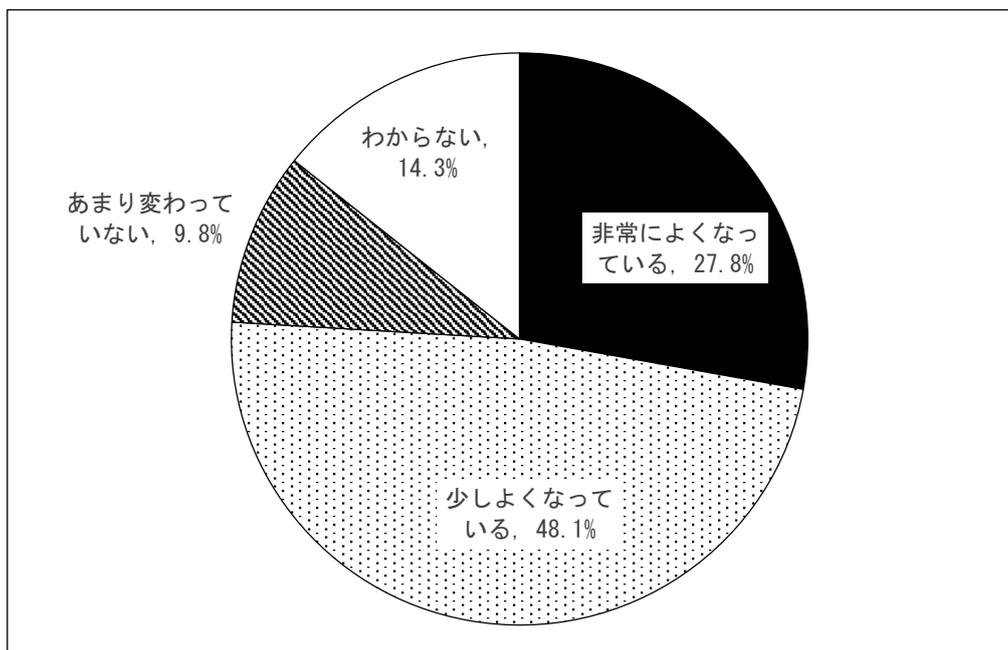
問12 あなたは、北九州市に対してどんな都市イメージをもっていますか。次の中からいくつでも選んでください。



	回答者数	まあまあ住みよい街	工業都市・労働者の街	緑豊かな環境先進都市	暴力の街	これから発展していく楽しみな街	活気あふれた明るく住みよい街	その他	無回答	
全体	133人	71.4%	67.7%	29.3%	18.0%	12.0%	4.5%	9.8%	-	
性別	男性	58人	67.2%	67.2%	31.0%	19.0%	17.2%	3.4%	13.8%	-
	女性	75人	74.7%	68.0%	28.0%	17.3%	8.0%	5.3%	6.7%	-
年齢別	10歳代	2人	100.0%	100.0%	50.0%	-	-	-	-	-
	20歳代	14人	71.4%	57.1%	14.3%	14.3%	28.6%	-	-	-
	30歳代	16人	56.3%	56.3%	18.8%	25.0%	12.5%	6.3%	6.3%	-
	40歳代	25人	56.0%	84.0%	28.0%	20.0%	8.0%	8.0%	8.0%	-
	50歳代	17人	70.6%	58.8%	17.6%	11.8%	5.9%	-	-	-
	60歳代	33人	81.8%	69.7%	36.4%	15.2%	12.1%	9.1%	15.2%	-
	70歳以上	26人	80.8%	65.4%	42.3%	23.1%	11.5%	-	19.2%	-
区別	門司区	13人	76.9%	46.2%	46.2%	15.4%	23.1%	-	7.7%	-
	小倉北区	24人	79.2%	54.2%	33.3%	20.8%	12.5%	-	4.2%	-
	小倉南区	32人	75.0%	71.9%	21.9%	15.6%	12.5%	-	15.6%	-
	若松区	9人	55.6%	77.8%	33.3%	-	11.1%	11.1%	-	-
	八幡東区	9人	66.7%	66.7%	22.2%	33.3%	22.2%	-	-	-
	八幡西区	36人	66.7%	80.6%	27.8%	22.2%	5.6%	11.1%	11.1%	-
	戸畑区	10人	70.0%	60.0%	30.0%	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	-

「まあまあ住みよい街」が71.4%で前回調査同様の1位となった。また、「暴力の街」は前回調査の29.2%から18.0%に減少した。

問 1 3 北九州市では、警察その他の関係機関・団体と連携し、暴力追放運動に積極的に取り組んでいます。以前と比べて変わったと思いますか。



	回答者数	非常によくなっている	少しよくなっている	あまり変わっていない	悪くなっている	わからない	無回答
全体	133人	27.8%	48.1%	9.8%	-	14.3%	-
性別	男性	58人 34.5%	51.7%	3.4%	-	10.3%	-
	女性	75人 22.7%	45.3%	14.7%	-	17.3%	-
年齢別	10歳代	2人 -	100.0%	-	-	-	-
	20歳代	14人 21.4%	42.9%	21.4%	-	14.3%	-
	30歳代	16人 -	62.5%	25.0%	-	12.5%	-
	40歳代	25人 24.0%	56.0%	8.0%	-	12.0%	-
	50歳代	17人 11.8%	58.8%	5.9%	-	23.5%	-
	60歳代	33人 45.5%	36.4%	6.1%	-	12.1%	-
	70歳以上	26人 42.3%	38.5%	3.8%	-	15.4%	-
区別	門司区	13人 23.1%	38.5%	15.4%	-	23.1%	-
	小倉北区	24人 25.0%	62.5%	4.2%	-	8.3%	-
	小倉南区	32人 37.5%	34.4%	12.5%	-	15.6%	-
	若松区	9人 11.1%	33.3%	33.3%	-	22.2%	-
	八幡東区	9人 33.3%	44.4%	-	-	22.2%	-
	八幡西区	36人 27.8%	52.8%	8.3%	-	11.1%	-
	戸畑区	10人 20.0%	70.0%	-	-	10.0%	-

「非常によくなっている」「少しよくなっている」の合計が75.9%で、全体の7割以上を占めており、「悪くなっている」は前回調査と同様の0%だった。

問14 暴力追放について、その他ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

頂いた55件のご意見を記入いただいたそのままでご紹介します。

【北九州市の現状について】

- 私は北九州市に住んで25年ですがとても住みやすい街だと思っています。官公庁舎・銀行など集約されていますし、子育てもともしやすい所で自然いっぱいの遊びもできました。しかしながら他県の友人などからしてみれば北九州←→怖い街というイメージは未だに言われています。暴力団追放には色々ご尽力されており、さらにすみやすい街へ発展できますよう、1住民として協力できる所は参加させて頂きたいと思えます。
- 主人の転勤で4回小倉に住みました。今は終の住み家として住んでいます。こわい街かも？と思うのですが、便利だし海あり、山あり、で暴力団のカゲがなければ住みやすいと、好きです。1日も早く、すべてが解決して安心できる街にしてください。ニュース等で注目しています。
- 転勤して北九州に住んでいます。ここにくる前は、北九州は暴力団がいるのであぶない町だと聞いていましたが、住んでみるといがいと住み良い所と思っています。ただ北九州市に古くから住んでいる方からは場所によっては近づかないほうがよいと教えられます。
- 市も警察と協力しながら、工藤会本部の撤去等、非常に頑張っています。これからも暴力団撲滅の為頑張ってください。
- 私の若い頃は、他の県に住んでいる知人から「北九州市」は怖い町とよく言われた。実際に暴力団による殺傷事件も起きていたので否定も出来なかった。しかし、現在は市が暴力団追放に力を入れてきた結果、抗争事件もなく安心できる町になったと感じています。
- 北九州と言えば、「住民がロケットランチャーをもっている所」と以前笑い話を聞いた事があったが、市の努力あって、随分暴力団の力は落ちていると思う。以前は新幹線駅から風俗店が見えるのは小倉駅と笑われた事があったが小倉は変わったと思う。
- 40年前小倉に10年勤務し、初めて他県（長崎）へ転勤しました。当時は「タクシー」「外車」「北九州ナンバー」は気をつけて運転するとの話。「小倉から来た」「出身は北九州」というだけで地元の人と親しくなるのに1年かかりました。又、保険会社の人達は、北九州、筑豊方面への転勤を大変嫌がっていました。「北九州、筑豊」は大変ガラが悪い、気性が荒い「ヤクザ」等色々な人がいる。当時は「草野一家」「田中組」等抗争があっていました。「エントツから煙」がもくもく。汚い町。長崎は別世界でした。空気は旨い。人はいい。（変人もいたけど）又、当時は生活保護費を各銀行支店の窓口で支払っていました。朝から記念硬貨引き換え日の様に行列。朝からバタバタ。中にはベンツミンクのコート等、本当に、受取る資格はあるの？と思う人もいました。長崎は1日の支給日の朝。ビックリ誰1人並んでいませんでした。こんなに違うのかとビックリしました。今、市長、役

所の皆様、警察の方々の努力で、大変北九州市も変わり、住み安くなっています。
「工藤会ビル」売買。素晴らしいと思います。「暴力追放！！」を応援します。北九州はどんどん変化していますよ！！

- 以前に比べ「暴力団」関連のニュースを聞かなくなった気がします。実際、黒崎なので、夜の街中でのケンカが少なくなったとも聞きます。問3についても「非常に」よくなっているとは言えないかなと思いますが、「少し」と言わず「ずいぶん」「かなり」よくなっていると思います。
- 北九州市は大変住みやすい街だと実感しておりますが、他府県の方から見れば、まだ「怖い街」とのイメージが強いように感じます。暴力追放運動の推進を合わせて、良いイメージの定着が図られれば良いなと感じます。
- こちらに転入してきたとき、以前住んでいた知人から、北九州は暴力団が結構いるのではと、心配だといわれました。まだ、北九州＝暴力団が多い街とわわれています。住んでみて、思ったよりはそういったイメージはないですが、ただ、地域によっては歩けないなと感じるところはあります。他の県でも同じような点はあります。昔よりはずいぶん住みやすい街となっているのは確かだと思います。
- 私の他県の知人、友人は、北九州といえば暴力団の多い大変こわい町というイメージを持って居ます。

【暴力追放に向けた要望について】

- 暴追大会 in メディアドームに初めて参加した時はメディアドームもこの様な活用方法があるんだと少しの違和感を覚えながらキョロキョロした。その後2回参加した。勿論パレードにも参加しました。工藤会事務所前を通った時、事務所内部構造に興味を持ったが、そこまでだった。しかし今は壊滅・撤去され、北九州市の負のイメージを挽回できて非常に良かった。関係者皆々様の御努力に感謝です。トップの強い意志の結果のお手本かもしれませんネ。最近、治安維持の担い手の1つに“防犯カメラ”が有ります。IoTやAIを駆使し、情報も瞬時に判断出来る様になっています。防犯カメラの設備も大切で重要ですが、僻地には殆ど無いのが現状です。自動販売機(飲料水等の)に防犯カメラを内蔵させた「防犯カメラ内蔵型自動販売機」に置き換えることを行政指導でお願いしたい。日本一治安の良い北九州市を目指して。
- ニュース等で北九州の暴力団の話題がありますが、実際に自分の身近に今までいいことなのか、関わったことがないので、実感がない現状です。知らないうちに接しているのであれば、恐ろしいことだと思うので、北九州のイメージをよくする為にも、運動を進めてほしいと思います。
- 新聞とかで暴力団逮捕とか言った情報は目にしますが、実際あまり関わりがないので実感はないです。でも北九州市から暴力団は全排除してほしいと思っています。
- 人的差別は良くないが暴力団組織が居心ちの良い社会環境の現実を役人達は良く学習して其の根の除去の理を認識して、根元環境社会の改善策を真剣に心して、

役わりを自覚されたし。

- 行政の努力で特定指定暴力団への取締りはかなり進んだと思いますが特定指定以外の新しい半グレ集団や組織的なサギ集団が新たに活動してるように感じます。特に外国人の入管理を強化すべきと思います。
- 暴力団という言葉自体なよく聞きますが、具体的に暴力団とは何なのか教えられたことがないので、何がダメなのか、理論的に納得ができていません。どうやって収入を得ているのか、何が悪いとされているのか教えてほしいです。実際に被害にあったことがないので他人事です。
- 今後も追放に熱心に取り組んでほしい。
- 一網打尽といかないことは承知の上です、一步一步進めて行って、暴力団の根絶をお願いします。
- 他県の人から北九州市は“こわい市”と思われています。警察、行政が今、努力し、なくす方向に本当にがんばっていることを、他県にもっとアピールしてもらいたいと思います。北九州のイメージが変わる様な努力、色々やっているとありますが、ニュースなどの情報の方が強すぎている様です。これからもがんばってください。
- 以前に比べてずい分良くなっていると思います。ひと昔前は、他県の友人から「小倉って怖いよネ。よく住んでるね」なんてよく言われていました。それが今や「高齢者の住みたいNo. 1」の街にまでなっているのですから。市役所、関係団体、警察、その他諸々…皆様には本当にお疲れ様、感謝です。ただどんどん組織の弱体化に伴って、アンダーグラウンド化というか地下にもぐったり、より巧妙な形で生き残りをしてるのではないか。その分悪質になっているんじゃないか…と思う。暴力沙汰という分かり易い形でなく、特殊さぎとか、一般に混ざってしまっていて判別しにくいものになってないでしょうか？そういう場合、私達はどうやって判断したらいいのか…
- 私は小倉南区の長行、長尾校区に住んでおり暴力団には全く無縁の地にいます。又、時に夜間小倉の駅前や、商店街や飲み屋街を歩いていても特に暴力的な事故や事件もなく安心しています。関東や関西の人達友人から北九州市に住んでいると、暴力団がいてピストルを持っている人達が往行している街で怖いんでしょうと言われる。私は65年を戸畑や小倉南区に住居を構えたが自然豊かで、病院も多く、医療、介護、福祉が充実し、高齢者になった今、とても安心、安全に生活できている。北九州市に住んでいることを誇りに思っている。
- 一人一人では、暴力団に立ち向かうことは怖くてできない。しかし、みんなが手をつないで立ち向かうことが出来れば負けれないと思うので、市民みんなが暴力団追放という同じ方向を向くよう確かな施策をお願いします。
- 暴力追放運動をこれからも強く推進してください。
- 私たち一般市民が。暴力追放には、力を出すことはできない。やはり、警察が、もっともっと、向き合っていてほしい。

- 北九州市内の暴力団組織「工藤会」、先日のテレビ放映のある以前からその存在は知っていました。福岡県警がそれを潰すための行動を起こし、かなりの成果が上がっていることの報道がなされています。しかし北九州市に暴力被害相談窓口があるのを、今回のアンケート調査内容で初めて知りました。しかし、約2000名の逮捕者を出しているのに、押収した拳銃が1丁とのこと。普通拳銃は最低各自が1丁は持つものです。2000丁以上出てもと思う。本当に成果があったのでしょうか。簡単に邪魔者を殺傷する暴力団組織は徹底的に破壊すべきです。私は戦時中の生まれ、戦後大人の男性は酒が入るといつも殴り合いの喧嘩は日常、男が自分の嫁さんを、木剣を持って追い回しているのに何回も出会いました。令和の時代このような事はないと思います。今回のアンケートでは暴力の定義がよく分かりませんが、口による又は沈黙による暴力もあるのでは、特に北九州の中でも歴史ある古い地域では、顔役が存在し、市民センターの館長が困っている場所があることを、何度も聞きます。市民センター長の任期は5年です。自治区会等の任期も市の指導で検討すべきではないかと思えます。世間では清水の次郎長をイメージしていると思われる人も存在します。この世界に入る人の中には、幼少のころいじめにあったような人も多く存在していると聞いています。学校の教育の中にも暴力配慮を強調すべきだと思います。
- 社会の害悪でしかない暴力団(員)、本市だけが対策を強化しても根本的な解決にはならない。日本社会から抹殺しなければ、安全で住みよい街にはならない。事件を起こした暴力団(員)に対しては刑を重くし一度刑務所に入れば少なくとも30年以上は出てこれないようにする。芸能人で暴力団(員)との黒い交際があるとされている者が多数いるのは周知の事実。このような芸能人は芸能活動ができないようにすることが必要。覚せい剤の入手にも暴力団(員)が関係し、その資金源になっているようだ。資金源を断つともに所持したり、使用していた者に対しても厳罰を課してもらいたい。一般市民を容易に攻撃対象とする小倉北区に本部がある「工藤会」は、本市暴追対策の努力によりかなり構成員が減ってきている。これらを壊滅させるため今後とも厳しく対処して欲しい。過去、全国紙をにぎわせた、暴力団事件で北九州は恐ろしい、怖いというイメージがあったが、暴追対策の成果が徐々に成果を上げ安全、安心な街によみがえろうとしていることは大変喜ばしいことである。
- 暴力追放は叫びつづけ追放された組の人の厚生職があること。普通に生活していけること、など重要だと考える。予備軍である子供達を作らないこと。子供達を孤立させないこと。地域で子供たちを見守り育てていくこと。など底辺の仕事いつも充実させることが暴力に走る人間を作らないことだと考えている。その為に、市の職員の意識が小さなことをキャッチできる人であって欲しい。又そのような活動を支援して欲しい。

【暴力追放に関する意見について】

- 暴力団追放についての県市あげての活動について大変評価しております。一時他府県の警察の応援があり、いろいろなナンバーのパトカーが道路を走っているのを見て非常になさけない思いをした事が思い出されます。ある時、東京に行ったときに北九州市からと相手さんにつげると、その後暴力団はおとなしくなりま

したか？と言われ、大変に情けない思いをした経験があります。いったん印象づけられたレッテルはなかなかはがせない事ではありますが、今後、北九州市として継続して発信していく以外に方法はないと思います。北九州市は、緑豊かな自然が残り、子育てしやすい地域、病院に困らない地域であります。物価も安定、山海の物産もあり、まだまだアピールする点は数多くあると思います。暴追運動について『まだまだ』55%。継続は、力なりと思います。

- 「暴力団対策法」「組織犯罪処罰法」「暴力団排除条例」が制定され、北九州市においても効果は上がっているようですが、暴力団という組織犯罪集団を認める法律があるのは、主要20ヶ国の中でも日本だけで、法的に認められていれば、壊滅はむつかしそうです。この先、まったく新しく暴力団そのものを立件できる法律が必要になるのではないのでしょうか。
- 暴力団を排除は分かるが、退団した人や少年院や刑務所帰りの人などの積極的な受け皿が必要だと思う。私は実害がないので分からない。
- TV、新聞報道によると、かなり鎮静しているように思われがちですが、表面にでない部分もある様感じます。ドラマみたいには解決しませんよね？
- 暴力追放運動等をしないでいい北九州市になればと懇願しています。そのために必要なことは日常での行動だと思います。「勸学院の雀は蒙求を囀る」！
- 対策は進んでいと思いますが、やめた人が戻らないようにする対策が必要だと思います。
- テレビなどで、北九州の一部をどのように報道されるかが大事だなと思っています。
- もしも、何かのひょうしに、暴力団とかにかかわりができていたり、無理強いされた時の、市の相談窓口があるらしいけど、私は、公務員で警察じゃないから、どこまで相談にのってくれるかわからないし相談窓口があっても警察よりは行きやすいかもしれないけど、どうゆうことをしてくれるかわからない、今まで行ってきた実績を知りたいし、警察との連携いはどうなっているのか知りたい。あと、暴力追放のパレードとかTVニュースとかあってるけど、これは、市民参加はよくないと思う。市民は市民なのでそーゆー事は権力を持って暴力団の人が手が出せない人達がした方がいいと思います
- 市としてとりくんでいると感じています。以前はそんなに感じませんでした。)なくすことはかなり難しいとは思っていますが、市としてとりくんでいるということPRするだけでも効果はあるのではないのでしょうか。
- ふり込み詐欺など心配です。暴力団が早くなくなると良いです。
- ・報復等の報道を耳にすると家族の安全を考えて、存在は知ってはいるが、関りは持ちたくないというのが本音です。・周囲に暴力団との関りのある人や、関りを持たされた人はいませんが、遠くの街に住む人からは、北九州市と暴力団の関係性を指摘されることがあり、存在があるのだというくらいの認識でしかありません。
・テレビの報道では暴力団に立ち向かわれる警察の方の意気込みを耳にしますが、

テレビ関係者も報復等を恐れているのか、たわいないどうでもいいものの垂れ流し放送が主なところのように思えますので、警察の士気が上がるような報道の取り組みを期待しています。多く暴力団の被害等の実態が報道され、その苦勞や成果を耳にすることが増加すれば、こちら側の意識も変化していくのではないかと考えています。

- う～ん。むつかしい問題だとは、思います。一切関わりたくないです。
- 日々の生活で、何かトラブルが発生したとき、暴力団を使うのではなく、弁護士の利用を市が呼びかけるべきでは。トラブル解決に暴力団を使う人間がいるから、暴力団は生き残る訳なので。
- 根本的には無理だろう。立場に寄っては、行政から民間、民間から行政への目に見えない暴力もあり得る。
- 先頭に立ってその手の努力が出来る人には頭が下がります。さしたる協力は出来ない身勝手な自分ですがどうか今後ともよろしくお願いします。
- 外部から 10 年前に北九州市にきました。とても怖い街であるという先入観がありました。暴力団ではありませんが、高校生から夜間に暴行を受けたことがあります。怖い街です。何が言いたいかということ、暴力団という特定の集団ではなく、潜在的な犯罪（に手を染めてしまう）可能性が（私は）高い都市なのだと感じています。暴力追放は、身近な場から身を守ること（啓蒙活動）をすべきであると思います。
- 市も警察も暴力追放に本気で取り組んでいると感じます。その姿勢を強く支持します。
- 幼少よりずっと北九州に住み暴力団の存在がずい分と改善されたと感じられる。
 - ・ 昔は任侠ものの映画や小説を勘違いしてか、同世代の友人も暴力団関係組織に巻き込まれたものもいた。40代になり家族を持つようになり“善良な普通の人間”であることの有難さが理解できるようになり、大いに後悔していた。でももう遅い。
 - ・ 出版の自由言論の自由とは言いながら、周囲の社会環境は特に幼少期には非常に大切。“隠す”のではなく、“真実”を教育することが大切。現在はアニメにもスポーツや芸能や宇宙をテーマにするものが多くなり、子供達の意識が昔とは異なる気がする。
 - ・ 外国人労働者の流入が危惧される。日本人社会に馴染まず阻害されたこれら労働者を暴力団が凶悪犯罪に誘引する恐れがないか？労働力不足を補う点を一方的に報道するのではなく、市民には正確な実態を知らせるべき。（例えば外国人による犯罪件数、内容、発生場所、地域など。）
 - ・ 暴力団に一度足を染めると、一生社会的には認知・復活できないと言う制裁が必要。“ヤクザの人権”を問うとするなら、彼らがその当時、社会の一般市民の人権をどれだけ多く脅し阻害してきたか！“気がついたら改心すればいいや”の甘えが組員増加を助長する恐れがあるのでは？
 - ・ 麻薬常習者や暴力団関係の芸能人が普通・当然の様に復活する。おかしい！！二度と公けの場に出さないで欲しい。彼らを与えた多数の善良市民への悪影響を思えば、少数である彼らの人権は無視されても仕方がない。『一度染まると

“人”としての生活ができなくなる』との制裁を課すべし。『善良な市民を護る社会』に向けて是非協力したいものです。

- 今まで関わったことがないが、やはり、怖いイメージが強く、一般市民では対処できないと思う。やはり、警察にお願いするしかない。
- 被害にあった人の話を聞いたことがあり、怖いという気持ち大きい。が、暴追パレードなどできることがあるので、みんなで行動を起こさないといけないと思う。
- 暴力団員の刑罰が軽すぎる（刑期を終えて外に出れば箔がついて出世する？）罪のない一般の方が巻き込まれたら、どんな事件でも無期懲役でもいいと思うくらいです。
- 家庭環境等から、その道へ進み、抜け出せない場合が多いと思います。少年、少女の非行の目を摘むことが大切で、家庭環境に目を向けないといけませんが無関心をなくすことが大切だと思います。
- 暴力団追放によって小さな暴力グループが増えることのないように十分なケアが必要だと思う。
- 私の知り合い（建設業者）が場所も名前も知りませんがあるお寺を改装中業者が備品の“つぼ”を壊してしまい、住職から90万円を請求されていたが、後日あのつぼは高級な“つぼ”で900万円の間違いだと言われ900万円弁償するよう請求された。裏に暴力団がついているという事でやむなく請求に応じ、分割で支払いをしているそう。不当な請求をされても暴力団に脅されると怖いと言っているそうです。この様に、一般人が暴力団を利用するなら、暴力団は永遠になくなる事はないと思う。お寺の住職でありながら、とんでもない事だと思う。許されない！！！！。

【その他】

- 風俗店で働く人達に税金を払って欲しい

IV 全体考察

民事暴力相談センターは、昭和62年10月に暴力団等からの被害を受けた市民や企業が気楽に相談できる行政の窓口として、全国に先駆けて開設した。さらに平成25年4月1日、組織改変により交通事故相談、民事介入暴力相談、犯罪被害者相談、生活環境パトロールを統合して、安全・安心相談センターが発足した。

また、福岡県では平成22年4月に全国初となる罰則規定を盛り込んだ「福岡県暴力団排除条例」を施行し、平成25年6月1日には、暴力団排除に立ち上がり、また立ち上がろうとする事業者を保護するため、特定の事業者に対する暴力団の不当な影響を排除するための措置が追加規定された「改正福岡県暴力団排除条例」が施行され、本市でも平成22年7月に市民が安心して暮らせる社会の実現、社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的に「北九州市暴力団排除条例」を施行したところである。

このアンケートは、本市が県警察、市民と緊密に連携して推進している暴力団対策の市民認知状況及び民事介入暴力や被害相談の状況を調査し、今後の取り組みに生かすため実施した。

【市の相談窓口の認知度について】

- 市の相談窓口の認知度では38.3%で前回調査の平成29年度の52.3%から減少した。暴力追放に向けた取組については、「ポスターやリーフレットによる啓発」「暴力追放大会や講演会の開催」「テレビや市政だよりによる広報啓発」が前回調査同様に上位を占めた。

【不当な要求を受けた場合について】

- 暴力団から不当な要求を仮に不当な要求を受けた場合の対応では、「他に相談する」が74.4%と圧倒的に多く、次いで「要求を拒否する」が17.3%であった。また、相談相手は「警察」90.9%、「市の相談窓口」40.4%が前回調査同様に高くなっており、身の回りの人より、行政機関を優先する意見が多かった。

【暴力追放の住民運動について】

- 暴力団追放の住民運動への参加意識では、「ぜひ参加してみたい」「どちらかといえば参加したい」の合計が半数以下の21.1%で、「あまり参加したくない」「参加したくない」の合計は78.2%だった。参加したくない理由は「今までこのような行事に参加したことがないから」が59.6%と一番多かった。

また、「できるだけ暴力団に関わりたくないから」が43.3%、「暴力団からの報復等がこわいから」が31.7%と、暴力団の存在を恐れる意見が減少した。

【暴力団を利用してのもめごと処理について】

- もめごとの処理に暴力団を利用することの可否については、「絶対によくないと思う」が半数以上の78.9%で、「悪くないと思う」1.5%だった。

【暴力団の存在について】

- 暴力団の存在については、「暴力団に資金を提供する者がいるから」が65.4%、「抜け出すことが困難だから」が54.1%と半数以上、次いで「利用する市民がいるから」が45.9%、「入りたがる者がいるから」が39.1%と上位を占めた。

【北九州のイメージについて】

- 都市イメージの項目は「まあまあ住みよい街」が71.4%で前回調査同様の1位だった。また、「暴力の街」との回答が18.0%と減少し、都市イメージの改善が進んでいることがうかがえる。

【暴力追放運動の取組について】

- 暴力追放運動の取組については、以前と比べて「非常によくなっている」が27.8%、「少しよくなっている」が48.1%とよくなっているとの意見が合計75.9%で、4分の3以上だった。また、「悪くなっている」は前回調査同様に0%であり、本市の暴力追放運動は着実に前進していることがうかがえる。

【市政モニターに関すること】

市民文化スポーツ局 広聴課 (TEL : 582-2527)

【アンケートに関すること】

市民文化スポーツ局 安全・安心相談センター (TEL : 582-2427)